

データ流通 WG について

火山研究の活性化や分野間・組織間の連携強化等を目的としたデータ流通の仕組みについて検討を行うため、次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト 次世代火山研究推進事業 火山研究運営委員会の下にデータ流通WGを設置することが6月2日に開催された火山研究運営委員会で決定した。

- WGのメンバー予定

- 地震・火山噴火予知研究協議会に設置された火山研究の次期観測研究計画検討WGのメンバーと同じメンバーを基本とし、それ以外のメンバーについても参画して頂くことで検討中

（火山研究の次期観測研究計画検討WGメンバー）

- ・大湊 隆雄(WG 主査:東京大学地震研究所)
- ・橋本 武志(北海道大学)
- ・山本 希(東北大学)
- ・神田 径(東京工業大学)
- ・前野 深(東京大学地震研究所)
- ・前田 裕太(名古屋大学)
- ・大倉 敬宏(京都大学理学部)
- ・中道 治久(京都大学防災研究所)
- ・相澤 広記(九州大学)
- ・上田 英樹(防災科学技術研究所)
- ・篠原 宏志(産業技術総合研究所)
- ・藤原 智(国土地理院)
- ・宮村 淳一(気象庁)
- ・吉本 充宏(富士山科学研究所)

（それ以外のメンバー）

- ・栗谷 豪(北海道大学)
- ・伴 雅雄(山形大学)
- ・行竹 洋平(神奈川県温泉地学研究所)

- 協力機関の依頼

- WGへの参加機関には課題Aへの協力機関を依頼予定。
- ただし協力内容は「仕組み作りへの協力」のみで「仕組みへの参加」とは区別する。

- 日程

- 平成 29 年 7 月以降、年内に 3～4 回程度開催予定。その後も必要に応じて開催。
- 平成 29 年 9 月の火山学会で説明し、学会員からも意見を頂く予定。
- 検討結果は次回の総合協議会で報告する予定。

- 検討内容

- 課題Aが実施したヒアリングで指摘された課題
- 流通・共有するデータの種類や対象観測点
- システムにデータを取り込む方法
- 公開させるデータ及び範囲（教育、防災、研究、商用目的、国内、海外）
- データの標準化（データフォーマットの統一）
- 流通のための装置及び回線等に係る費用分担・責任分界点
- データ流通促進のための協定
- データ流通促進の仕組みを継続的に改善する体制
- 事業期間終了後も、システムを維持するため、受益者負担の考えに基づく維持管理の仕組みについて
- システムの維持管理コストを削減する仕組みについて